

***** 父島二見湾表層水温の観測結果と小笠原群島周辺海域における沿岸定点観測結果についてお知らせいたします *****

概要

二見湾定地水温(図1)は、先月末より引き続いて平年よりもやや高めで経過しました。13日には23.0 を記録し、過去最高水温を超えました。月平均水温も22.2 で、平年よりも1.1 高いという結果でした。図2は、昨年2007年の推移です。1月から平年よりも高めで経過していましたが、特に3,4月は高水温が続きました。その後5,6月は3月の水温をも下回る低水温が続きました。しかし、年間の平均では、平年と同じ24.0 という結果でした。

今月の定線観測は興洋ドックのためお休みです。毎月図3の観測点で深度毎の水温、塩分のほかに、溶存酸素、クロロフィルも調べています。図3は、2007年4～11月の水深300mまでのクロロフィル総量の推移です。図から西側のステーション(St番号奇数)では、おおむね6,10月は増加し、逆に夏場の8,9月は減少したことがわかります。東側ではあまり明確な季節性は表れませんでした。また、St3,5,10では他と比べ、高かったことがわかりました。

・二見湾定地水温(毎日午前中1回、父島二見湾内青灯台にて1984年から表層水温を測定 測定機器:SATO SK-250WP)

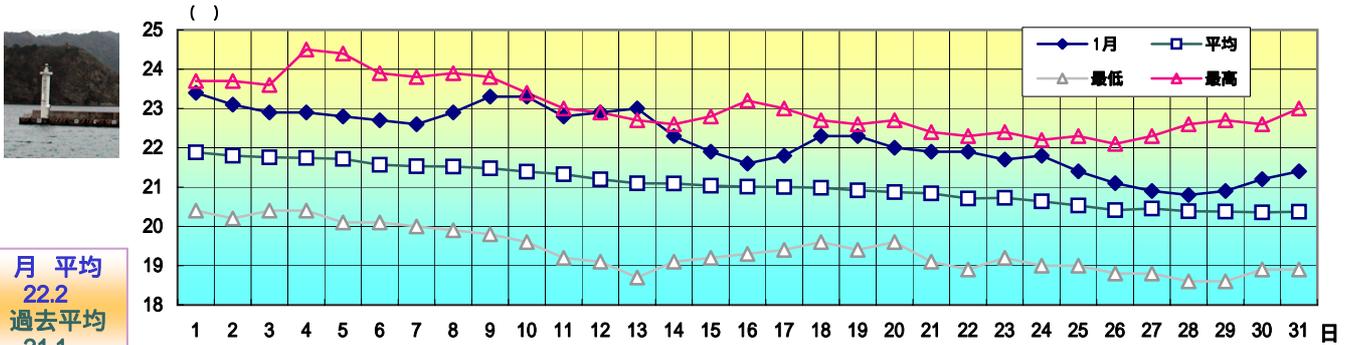


図1 1月の定地水温推移

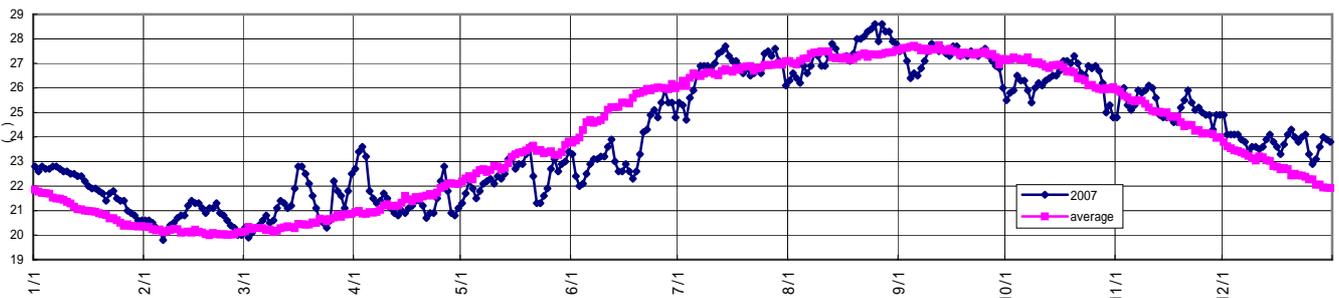


図2 2007年の定地水温推移

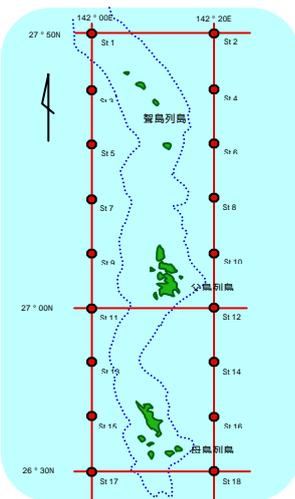


図3 観測点

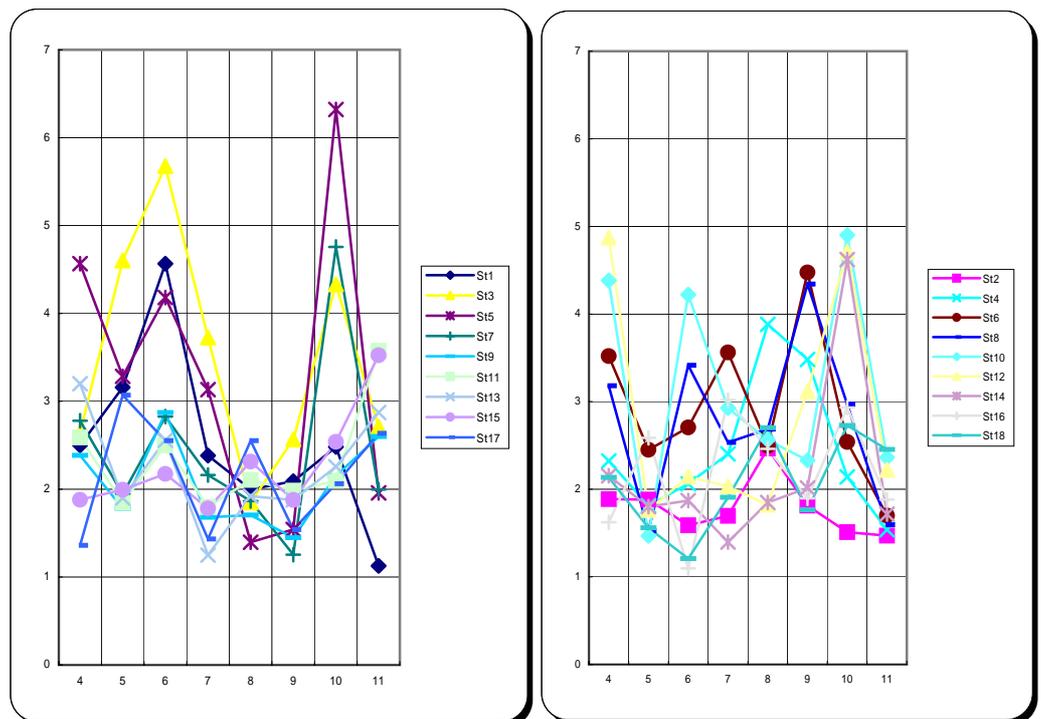


図4 St別、月別クロロフィル量の推移

バックナンバーは下記で公開中

<http://www.soumu.metro.tokyo.jp/07ogasawara/suisancenter/33umi.htm>